（1962年3月7日 第3種郵便物認可）西鉄組合新聞　（毎月1日発行）

Nishitetsu Kumiai Press

2020.5.1　Vol.1699　5月号

西鉄組合新聞

【発　行　所】福岡市中央区大手門1丁目4番16号
TEL092-771-2931　西日本鉄道労働組合
【編集発行者】川瀬 直之
定価 1部 30円 送料共（この新聞は組合費の中から購読料を徴収しています。）
西鉄労組ホームページ（http://nnr-u.org）▶

第7回中央委員会（持ち回り決議）

2020年度賃金配分決定

第7回中央委員会については、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、4月27日、持ち回り決議で開催し、「2020年度賃金配分」など、すべての議案が承認決定された。会議員からの意見集約では、「バスの最前列の座席を使用不可にするなど感染防止対策を徹底してほしい」「緊急の貸付制度を検討してほしい」といった意見が出され、回答を書面で送付した。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、病欠時の最初の3日間に原則基準賃金の80％を保障する「病気欠勤の特別取扱い」や、パンデミック帰休などの取扱いを変更する「緊急時の勤務取扱いの臨時的変更」など、組合員の働き方に関わる重要な議案が決定されている。それぞれの内容について、必ず確認するようにしていただきたい。

※決議内容の詳細は「かべ新聞 第7号」参照（分会掲示板、イントラネットの西鉄労組掲示板に掲載）

「西鉄労組 政策・制度要求（案）」決定

要員確保に向けた取り組み強化など要求

政策部は、合同政策委員会を開催し（持ち回り決議）、2020年の「西鉄労組　政策・制度要求（案）」を決定した。今後、意見集約をおこなったうえで、「西鉄労組　政策・制度要求」として正式に決定する。

西鉄労組では、将来にわたる雇用と生活の確保、労働条件の維持・向上を目的に、2016年より隔年で、西鉄労組独自の政策・制度要求を作成し、連合福岡や福岡県交運労協などを通じて行政に要求をおこなっている。今回の案では、男女平等参画社会の実現に向けた保育の質の向上と待機児童問題の解決、バス乗務員の要員確保に向けた取り組みの強化、鉄道駅（沿線）の活性化に向けた取り組み推進、大型施設の災害対応費用に対する積極的な助成措置などを要求している。

「西鉄労組　政策・制度要求」は、各分会・出向班に送付しているほか、正式決定後は社内イントラネットにある西鉄労組ホームページに掲載する予定。

賃金配分オルグ中止

毎年、4月下旬より実施していた「賃金配分オルグ」は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、今年は中止します。賃金配分に関する質問や意見は、分会長または出向班長までお伝えください。

各職場で感染拡大防止対策を徹底

新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、各職場で様々な取り組みが実施されている。

〈自動車部門〉

マスク着用の徹底（那珂川分会）

最前列の座席を使用禁止に

〈鉄道部門〉

ビニールを挟んで点呼（柳川乗務分会）

つり革・手すりなどの車内消毒（筑紫工場分会）

〈兼業部門〉

「不安の中、懸命に業務」国物東京分会

国物東京分会でも、新型コロナウイルスの影響は大きく、各組合員は業務上でも、日々の生活においても、厳しい状況に置かれています。各職場では、出勤率を抑えるため、テレワークを導入していますが、最前線の現場では出勤が必須という現実もあり、日々不安と戦いながらも業務に励んでいます。先の見通しが見えない状況ではありますが、組合員一人ひとりが意識をもって、自身や家族、友人を守るための行動を徹底し、乗り切れるように団結していきたいと思います。

【分会長　山下義彰】

テレワークで閑散としたオフィス

組合員一丸で感染防止 本社事務分会

本社事務分会では、マスクの着用、不要不急の外出自粛、「3密」の回避などによる新型コロナウイルスの感染防止に努めています。例えば、窓や扉を細目に開けて換気をおこなう、会議室や打ち合わせスペースを使うことで個人の間隔を開けて作業をおこなう、会議を極力減らすといった取り組みをおこなっています。1日でも早く、この事態が収束し、普段通りの活動ができるよう、引き続き感染防止に努め、組合員一丸となってこの難局を乗り越えてまいります。

【教宣部長　堀之内尚輝】

お知らせ

青女協 諸行事延期

青年女性協議会で5月に予定していた私鉄「沖縄交流」および7月に予定していた地連「山の祭典」は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、来年に延期となりました。ご理解いただきますようお願い致します。

【青女協　事務局長　井上翔太】

クールビズ実施と本部勤務調整について

組合本部では、5月1日（金）から10月31日（土）まで、環境負荷低減活動の一環として、クールビズを実施します。具体的には、本部通常業務や組合主催会議などにおいて、上着やネクタイを非着用でも差し支えないこととします。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、本部出勤者を減らすため、積極的な有給休暇消化による勤務調整をおこなっています。そのため、本部へのお問い合わせなどで、ご迷惑をおかけしますが、あわせてご理解をお願い致します。

組合本部 5月スケジュール

- ◆ 13日（水）…事務局会議
- ◆ 25日（月）…執行委員会
- ◆ 29日（金）…中央委員会

※急遽変更となる場合があるので、ご注意ください。

分会長（中央委員）・出向班長（特別中央委員）変更 ※敬称略

自動車事務分会

【新】野崎保彦
↑
【旧】馬男木洋一

電車技術分会

【新】高尾拓也
↑
【旧】木下直紀

線路技術分会

【新】赤石武大
↑
【旧】畑山大地

本社事務分会

【新】池田陽大
↑
【旧】濱野圭祐

西鉄バス久留米出向班

【新】丸山美明
↑
【旧】西田昇平

★「雑餉隈分会」は、営業所名変更のため、4月27日をもって「竹下分会」に名称変更しました。

★西鉄アカウンティングサービス出向班は、出向者が10名未満となったため、3月31日をもって出向班を終了しました。

森屋参議院議員 活動報告

私鉄組合員を守るため 枝野代表に緊急要請

4月21日、私鉄総連からの要請を受け、森屋隆参議院議員は、立憲民主党の枝野幸男代表に新型コロナウイルス感染症により甚大な影響を受けている全国の私鉄・バス・ハイタクの現状を訴え、感染症拡大防止対策などについて緊急要請をおこなった。具体的には、①公共交通従事者への感染防止対策、②公共交通事業者への支援、③雇用の確保対策、④終息後の復興対策、の4項目を要請。また、要請後、国土交通省にバス乗務員の感染防止を働きかけた結果、国土交通省は日本バス協会に、「一部の座席の使用を禁止することや防護スクリーンの設置に努めること」という事務連絡を即日、発出した。

【もりやたかし後援会ニュース】

要請書を手渡す・私鉄総連・田野辺中央執行委員長（左から2人目）

【立憲民主党HPより】

森屋隆参議院議員は、私鉄組合員の代表として精力的に活動しています。森屋議員の直近の活動については、Facebookやブログに掲載されているので、是非ご覧ください。

▲ブログ

▲Facebook

西鉄労組準組織内議員 佐々木とおる 福岡県議会議員 活動報告

日ごろより、組合員の皆様から、あたたかいご支援を賜っていることに、厚く御礼申し上げます。さて、令和2年2月定例議会で「災害時における中小企業への支援について」（要約）、一般質問致しました。

近年の県内中小企業の経営環境は、人口減少にともなう市場の縮小や人手不足、経営者の後継者問題に加え、近年多発している自然災害など、厳しい状況が続いております。特に、2017年（平成29年）から3年続いて福岡県を襲った豪雨災害に代表される自然災害によって、収入が閉ざされたり、思わぬ支出を余儀なくされ借金が増えたりするなど、経営者は苦しめられています。本県の中小企業約13万5千社は、県内企業の99.8%を占めており、県内従業員の約8割は中小企業で働き、日々の糧を得ています。突然襲ってくる自然災害は、その糧を得る企業に事業の中断をもたらすことになります。中小企業は規模の大小を問われず、災害時には行政の一押し、力添えが重要です。そこで、不可抗力の災害時に中小企業を支援する補助制度を整えておくべきだと、知事に強く訴え質問しました。

知事は、「中小企業が本県経済の発展と活力の原動力であると認識し、国の支援制度も活用し、被災された中小企業の事業の継続、早期再開を支援し、一日も早い復旧・復興を図っていく」と答弁されました。

私は、今後も、県内の山積する課題・問題の解決に向け誠心誠意取組んで参ります。

【福岡県議会議員　佐々木徹】

令和2年2月議会で一般質問に立つ佐々木県議

会社、連結業績予想を下方修正

コロナ影響で客数減

4月16日、会社は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2020年3月期連結決算の業績予想を下方修正した。売上高にあたる営業収益は59億円減の3,829億円、経常利益は10億円減の135億円、当期純利益は8億円減の62億円にそれぞれ引き下げた。国内外での移動制限や自粛要請などによる、バス事業および鉄道事業での旅客数減少、ホテル事業での稼働率低下、旅行事業での旅行客減少などが響いた。

コロナに負けるな! 免疫力アップ料理で体力強化!!

～健康な身体はバランスのとれた食事から～

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐには、手洗いやマスクの着用を徹底するとともに、十分な睡眠とバランスの良い食事をとり免疫力を高めることで、病気の発症を抑えることが重要です。毎日の食事の中に免疫力がアップする食材を取り入れ、病気やウイルスに負けない身体をつくりましょう!以下、免疫力アップが期待できる簡単レシピを紹介するので、ふだんは料理をされない方も、是非ご家庭で作ってみてください。

★ 免疫力アップ食材 ★

野菜（特に緑黄色野菜）、芋類、海草、キノコ類、果物、
みそ・納豆・キムチ・チーズ・ヨーグルトなどの発酵食品

★トマト on the サバ缶

<材料（2人分）>
ミニトマト 10～15個、玉ねぎ 1/4個、さば水煮缶1缶、ピザ用チーズ 40g

① ミニトマトはヘタを取り、半分に切る
② 玉ねぎは薄くスライスし、さば缶と合わせる
③ グラタン皿に②を入れ、その上に①のミニトマトとチーズをのせ、トースターで焦げ目がつくまで焼く

★きゅうりともずくのサラダ

<材料（2人分）>
味付もずく 1P、きゅうり 1/2本、なめこ 1/2P、ミニトマト 4個

① きゅうりは縦半分に切り、ななめ薄切りにする。塩でもんで水で洗い、絞っておく
② なめこは熱湯でサッとゆでて水で冷ます
③ ミニトマトは縦半分に切る
④ 味付もずくと①、②、③を混ぜ合わせる

※他のレシピはコチラ →

※レシピ出典：北海道江別市健康推進室保健センター
「新型コロナウイルス　感染予防のための6か条」

新コーナー

西鉄労組 うわさの調査隊

組合員からの「うわさ」を徹底調査し、その真相を明らかにするこのコーナー!記念すべき第1回目は、個性的な取り組みが目立つあの分会からの「うわさ」をキャッチ!

うわさの調査ファイル #01

壱岐分会に食堂復活!?

分会が主体となって、営業所内にトレーニングルームを設置するなど、分会独自で様々な取り組みをおこなっている壱岐分会。こんどは、廃止されたはずの従業員食堂を復活させたという「うわさ」が聞こえてきたので、教育宣伝部が調査にいってきました!

4月某日、壱岐営業所に行ってみると・・・・

「うわさ」は、本当だった!!

道路を挟んだ営業所のすぐ目の前に、その食堂はありました。4月24日にオープンしたばかりの食堂「はちきん」。

オーナーの東（あずま）さんによると、従業員食堂廃止後、知り合いだった馬奈木分会長が食堂開業を猛プッシュ。

「食堂ができたら、分会の組合員が喜んで食べに行きます!是非、開業を!!」

分会長の並々ならぬ熱意もあって、食堂開業を決意したとか(笑)

食堂オープン後は、ちゃんとしたご飯が食べられるということで、分会の組合員が積極的に利用しており、食堂スタッフの方も営業所までお弁当を届けてくれるなど、関係は良好。今後も、食堂でタバコの販売を開始するなど、組合員の要望に応えていくとのことで、まさに、壱岐分会の食堂と言える存在になっています。また、この「うわさ」を聞きつけてか、近隣の他の分会の組合員も食べに来ているそうです。

▲お弁当を受け取る馬奈木分会長

メニューは、旬の食材を使った日替わりサービス定食が500円、お弁当は400円からとリーズナブル!スタッフの方も、「働き者で快活な女性」を意味する高知方言「はちきん」のとおり、明るくて元気な方々ばかり!

お近くまでお越しの際は、食堂「はちきん」で是非お食事を!売り切れ御免なので、電話予約も受け付けているそうです。

馬奈木分会長とスタッフの皆さん

食堂 はちきん

福岡市西区壱岐団地137-2（西鉄壱岐営業所前）TEL:092-812-0789
営業時間：10時から18時
（当分は不定休、コロナが落ち着いたら居酒屋営業も!?）

◀「はちきん」な店長の浜辺さんとご主人が皆さんをお待ちしています!